

報道機関 各位

平成17年2月2日  
国立大学法人 広島大学  
情報化推進部情報企画課長

## 無線技術を導入した新しい3次元集積技術を発明 人間の脳より高速なハイパーブレインを実現可能に

広島大学ナノデバイス・システム研究センターの岩田 穆(いわたあつし)センター長(大学院先端物質科学研究科教授)と吉川 公麿(きっかわたかまろ)教授のグループは、21世紀COEプログラム「テラビット情報ナノエレクトロニクス」の研究の一環として、無線通信技術を導入した新しい3次元集積技術を発明しました。

今回発明した3次元集積技術は、10個以上のチップを積層して、チップ間に配線を使わないで高速に並列に情報を通信することを特長としています。集積回路の発展を律即してきた「ムーアの法則」を破り、100億個以上のトランジスタを集積して、10ギガヘルツ以上の動作クロックを実現し、超高性能コンピュータのみでなく、人間の脳を超えた超高速な人工的な脳を実現できると期待されます。

つきましては、下記のとおり、記者発表を行いますので、ご多忙とは存じますが、是非ご出席いただきたくご案内申し上げます。

なお、本件の報道解禁は、国際固体回路会議(International Solid State Circuit Conference)での発表日以降(日本時間2月9日午前0時以降)となっておりますので、ご協力方よろしく申し上げます。

### 記

日時 平成17年2月4日(金)16時～17時

場所 東広島市鏡山1-3-1

広島大学大学院先端物質科学研究科 会議室(3F)

※ご出欠につきましては、お手数ですが、別紙返信用用紙に必要事項をご記入の上、FAX(番号082-424-6040)でご返送くださいますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

広島大学ナノデバイス・システム研究センター長

岩田 穆(大学院先端物質科学研究科教授)

TEL 082-424-7856、FAX 082-424-7856

E-mail [iwa@dsl.hiroshima-u.ac.jp](mailto:iwa@dsl.hiroshima-u.ac.jp)

HP <http://www.dsl.hiroshima-u.ac.jp/~iwa>

[発信枚数;A4版 3枚(本票含む)]